



6/23 農地の良さを取り戻すために (成羽町布寄)

「耕作放棄地解消ツアー」(市主催)が行われ、県内外から応募のあった20人が参加しました。全5回で行われるツアーの初日は、15㍍の耕作放棄地の草を刈って耕したあと、5㍍に大豆の苗を植えました。蒸し暑く、大粒の汗を額に浮かべての作業となりましたが、地元住民団体の布寄精研会の指導のもと、よみがえった農地を見て、作業を終えた参加者には笑顔が広がっていました。

6/24 備中神楽を保存伝承するために (日名交流館かぐら)

「備中神楽成羽保存会研修会」(同保存会主催)が行われました。この研修会は、備中神楽の保存、伝承そして技術の研さんを目的として、毎年開催されています。12回目の開催となる今年は、ユネスコ無形文化遺産にも登録されている島根県の佐陀神楽保存会を招き、お互いが保存・伝承する神事舞を披露し合い、交流を深めました。



7/6 男性も楽しく料理 (落合町阿部)

日ごろの食生活習慣を振り返り、メタボリックシンドロームを予防、改善していくことを目的に「平成24年度男性料理講習会」(高梁市栄養改善協議会落合支部主催)が行われ、10人の男性が料理作りに挑戦しました。まず、栄養士から日ごろの生活習慣についての話を聞いた後、マーボー豆腐、なすのとりかけなど4つの献立を調理、試食しました。参加者は、彩り良く盛り付けられた料理を食べながら日常の生活習慣を省みていました。

▼7月6日深夜から7日未明にかけての大雨で、市内に多くの災害が発生しました。大雨の中、消防団員として出動しました。消防自動車現場に行こうとしたが、道路には川のように水が流れ、至る所で土砂崩れが発生し、通行することができません。今、ここで山が崩れてくるかもと、とても不安でした。実際の災害現場を目の当たりにし、災害の恐ろしさを実感しました。(KH)



編集後記

(KY)



まちの
出来事



6/16 商店街で子どもたちワクワク (栄町商店街)

「わくわく子どもフェスタ21」(同実行委員会主催)が行われ、市内外から訪れた約2,800人の家族連れらでにぎわいました。歩行者天国となった商店街では、栄町商店街振興組合、大学生や高校生の有志グループ、子育て支援団体など19の団体が、「見る・聞く」「遊ぶ」「作る」「食べる」「売る」をテーマにさまざまな催しや出店でイベントを盛り上げ、会場内は子どもたちの楽しそうな笑顔と笑い声で包まれました。

6/17 愛らしいソバの花畑で (松原町松岡)

「春播きそばの花見会」(松原そばの会主催)が行われ、約50㍍の斜面に広がる愛らしいソバの花を見ようと多くの人が訪れました。心配された天気も回復し、晴天に恵まれたこの日、訪れた人々は思い思いにカメラで写真を撮ったり、花の香りを楽しんだりしていました。また、会場ではざるそばの販売もあり、ソバの香りを舌でも楽しんでいました。



6/20 暴力を許さない社会づくりを (文化交流館)

「男女共同参画週間」(6月23日~29日)に合わせ、「男女共同参画社会啓発講演会」が行われました。「DV 被害者サポーター養成講座」を兼ねた今回の講演会は、「女性と子どもへの暴力の実態と支援~大切な家族の中で~」と題して、NPO 法人さんかくナビ理事長の貝原己代子さんが講演されました。被害者支援活動を行う中での被害者、加害者の心理や子どもへの影響についての具体的な話に、来場者は熱心に聞き入っていました。